

会計名		都市交通計画調査推進事業				担当部	都市政策部		
一般会計						担当課	都市交通課		
款	項					目	担当係	道路計画係、公共交通係	
8	4					1			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	総合交通対策の推進						
	目的	都市交通戦略に基づき、交通の円滑化を目指した道路計画、公共交通計画及び移動手段の適正化を推進し、「ひとと環境にやさしく持続可能な都市交通体系」の構築を目指す。		主たる内容	○都市交通戦略に掲げる施策を実施する。 ・幹線道路計画調査 ・交通課題の把握 ・公共施設連絡バスの運行状況調査 ・移動手段適正化に向けた調査・検討				
	位置づけ	関連計画 刈谷市都市計画マスタープラン、刈谷市環境都市アクションプラン、衣浦定住自立圏共生ビジョン 根拠法令							
	対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成24年度～令和12年度				
	実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	B 事業 D 実績 O ハ 実 施 V	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画	
		・刈谷市都市交通協議会開催 ・幹線道路に係る調査・検討 ・都市交通戦略の見直しに向けた調査・検討 ・バリアフリー基本構想の改定 ・刈谷駅周辺の駐車場・自転車駐車場の調査検討		・刈谷市都市交通協議会開催 ・幹線道路に係る調査・検討 ・都市計画道路に関する検討		・刈谷市都市交通協議会開催 ・幹線道路に係る調査・検討 ・自転車活用推進計画の検討 ・公共施設連絡バスの運行状況調査（R2繰越分） ・刈谷市公共施設連絡バス利用実態調査の実施		・刈谷市都市交通協議会開催 ・幹線道路に係る調査・検討 ・自転車活用推進計画の策定（R3繰越分） ・都市交通戦略中間改定に関する実態調査の実施	
		成果	・交通需要等の変化やニューノーマルへの対応に関する方向性を検討することができた。 ・自転車活用推進計画策定に向けた素案を作成することができた。						
課題		・感染症の影響を考慮するため、都市交通戦略中間改定時期を令和7年度に延期した。今後の交通移動需要の変化を注視して中間改定に反映する必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
成果指標	徒歩や自転車、公共交通機関の利用を心がけている市民の割合（％）		元年度	2年度	3年度	4年度	6年度		
成果指標	車や自転車などで移動しやすい道路と思う市民の割合（％）		—	70.1	—	70.1	70.1		
他市との比較検証	・交通戦略は愛知県内8市町で策定されている。 （近隣市の自動車以外の交通分担率実績（第5次パーソントリップ調査（H23）） 刈谷市 35.1% 安城市 30.2% 豊田市 27.0% 小牧市 29.0% 岡崎市 32.0%）								
C 事業 コスト	単位：千円	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳			
	事業費 ①	39,858	7,455	40,945	71,318	合計	40,944,920 円		
	財源	特定財源	10,740	1,000	6,160	16,900	報償費	84,800 円	
		一般財源	29,118	6,455	34,785	54,418	旅費	61,120 円	
	職員人件費 ②	31,962	15,306	14,006	17,120	委託料	40,799,000 円		
	総事業費（①+②）	71,820	22,761	54,951	88,438				
建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		3年度特定財源名称					
	3年度までの累積事業費	0		街路交通調査費補助					
	5年度以降の事業費見込	0							

会計名			<b>都市交通計画調査推進事業</b>	担当部	都市政策部
一般会計				担当課	都市交通課
款	項	目		担当係	道路計画係、公共交通係
8	4	1			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	地域活力の向上、防災・減災対策の推進、交通弱者が安心かつ安全に移動できる移動環境の確保、感染症の影響など、交通を取り巻く環境は近年大きく変化している。 市民の安全で快適な移動環境を確保するために、総合交通体系の確立は必要不可欠である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		高い	市内全体における道路、公共交通、自転車、駅前広場などの様々な計画を複合的かつ連携して手段の最適性を検討できる事業であり、効率的に検討することができる事業である。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	道路、交通、バリアフリーなど移動に関する施策や取組を総合的に判断し、刈谷市都市交通戦略を推進するために市が主体となって実施することが妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	様々な手段で移動できる交通環境が構築されることにより、市民サービスへの貢献度は高い。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合交通対策の推進のため刈谷市都市交通戦略に掲げる施策の推進を図るとともに、中間改定の策定を行う。</li> <li>総合交通体系の構築を目指し、公共交通や自転車の活用など多様な交通手段に関する検討を行っていく。</li> </ul>				

会計名		公共交通再編事業				担当部	都市政策部		
一般会計						担当課	都市交通課		
款	項					目	担当係	公共交通係	
8	4					1			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	公共交通の充実						
	目的	公共交通の更なる利便性向上のため、調査・検討を行い、地域公共交通計画等を策定する。			主たる内容	○地域公共交通計画の策定 ・刈谷市の地域特性の把握 ・公共交通の現状分析 ・利用実態及びニーズ調査 ○公共交通の運行に関する計画の策定			
	位置づけ	関連計画	刈谷市都市交通戦略						
			根拠法令	地域公共交通活性化再生法					
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	令和3年度 ~ 令和6年度			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画	
						・地域公共交通計画策定に係る調査・検討		・地域公共交通計画策定に係る検討 ・公共交通運行計画策定に係る検討	
成果		・市民アンケート、公共施設連絡バス「かりまる」利用者アンケート等を実施し、市民の公共交通や移動の実態を把握することができた。							
課題		・アンケート調査結果などを基に、地域別の課題分析を行う必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				元年度	2年度	3年度	4年度	6年度	
活動指標	刈谷市都市交通協議会（専門部会）開催数（回）			—	—	2	2	2	
活動指標									
他市との比較検証	地域公共交通計画は策定が努力義務化され、前身の計画である公共交通網形成計画から新たに計画策定を実施する必要がある自治体が多く、同様な取組が行われている。								
C 事業コスト	単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	7,617	17,306	合計 7,617,450 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費 368,000 円		
		一般財源	0	0	7,617	17,306	負担金、補助及び交付金 7,249,450 円		
	職員人件費 ②		0	0	8,328	9,090			
	総事業費（①+②）		0	0	15,945	26,396			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称			
3年度までの累積事業費		0							
5年度以降の事業費見込		0							

会計名			公共交通再編事業	担当部	都市政策部
一般会計				担当課	都市交通課
款	項	目		担当係	公共交通係
8	4	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	バス、鉄道、タクシー等の公共交通の需要を適切に把握し、利用者のニーズに応じた公共交通機能を提供するために必要となる事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		高い	各種公共交通機能の適切な役割分担を検討し、利用者ニーズに応じた機能の提供を行うことが、最も費用対効果や効率性の高い事業運営に繋がるため、効率性の高い事業である。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	交通機能で異なる民間事業者が関係すること、及び市民の移動ニーズを適正に把握して機能の役割分担、導入を検討することは様々な施策や計画とも連動していることも含め市が主体となって実施する必要がある。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	高齢化の進展、渋滞の緩和などの様々な課題に対して、より市民のニーズに合わせた公共交通機能の提供が求められており、本事業で実施される計画の策定が市民生活の課題解決に繋がる事業である。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
地域課題の分析を進め、さらなる市民のニーズの把握に努めて、よりよい公共交通機能の役割分担、バス路線の改正、新たな公共交通機能の導入検討を進める。					

会計名			公共施設連絡バス停留所整備事業	担当部	都市政策部
一般会計				担当課	都市交通課
款	項	目		担当係	公共交通係
8	4	1			

PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	都市環境				
		基本施策	道路・交通				
		施策の内容	公共交通の充実				
	目的	公共施設連絡バス停留所の待合環境を整備し、利便性向上と利用の促進を図る。	主たる内容	○バス停ベンチ及び上屋等設置 ○バス停照明器具設置及び修繕 ○バス停改良工事 ○バス待機場用地購入			
	位置づけ	関連計画		刈谷市都市交通戦略			
			根拠法令				
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	～	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他					

B 事業 実績	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度計画	
	・バスロケーションシステムモニター設置 3箇所 ・バス停照明器具設置 10箇所 ・バス停改良工事 5箇所	・バスロケーションシステムモニター設置 2箇所 ・バス停照明器具設置 16箇所 ・バス停照明器具修繕 5箇所 ・バス停改良工事 5箇所 ・バス停ベンチ上屋等設置 1箇所	・バス停照明器具修繕 13箇所 ・バス停ベンチ上屋等設置 2箇所 ・バス待機場用地購入 (R2線越分) 1箇所 ・バス時刻表改正に伴うバス停留所標識作成設置	・バス停照明器具修繕 12箇所 ・バス停ベンチ上屋等設置 1箇所	
	成果	・利用者が快適にバス利用できるよう、ベンチ及び上屋をミササガパーク・刈谷市体育館の各バス停に設置した。 ・バス待機場として必要な用地を購入することができた。			
	課題	・路線の改正と合わせてバス停留所の環境整備を検討する必要がある。			

O 実施	指標名称（単位）		実績値			目標値	
			元年度	2年度	3年度	4年度	6年度
	成果指標	バスの利用者数（人）	706,583	516,336	566,381	590,000	610,000
	指標						
	他市との比較検証						

C 事業 コスト	単位：千円	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳	
	事業費 ①	7,393	9,343	108,617	3,406	合計 108,616,550 円	
	財源	特定財源	3,210	2,150	1,857	0	需用費 225,000 円
		一般財源	4,183	7,193	106,760	3,406	役務費 23,000 円
	職員人件費 ②	3,774	7,578	4,164	909	委託料 1,857,350 円	
	総事業費（①+②）	11,167	16,921	112,781	4,315	工事請負費 3,511,200 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		3年度特定財源名称		公有財産購入費 103,000,000 円
3年度までの累積事業費		0		繰越金			
5年度以降の事業費見込		0					

会計名			公共施設連絡バス停留所整備事業	担当部	都市政策部
一般会計				担当課	都市交通課
款	項	目		担当係	公共交通係
8	4	1			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>	高い	公共施設連絡バスの利便性を高め、より利用しやすい環境整備を行うためにも必要な事業である。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>	高い	利用者が多く設置が可能な停留所にベンチや上屋を設置し、効率的かつ費用対効果の高い方法で実施している。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>	高い	公共施設連絡バスの利便性を高め、市民の移動ニーズにあった環境整備は、市が主体となって実施すべき事業である。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>	高い	利用者が、快適にバス待ちをできる環境整備であり、施策への貢献度は高い。	
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
公共施設連絡バスの利用者の安全性・利便性向上を図るため、今後もバス停の改良工事や上屋整備等を行う。					

会計名 一般会計		ユニバーサルデザインタクシー購入費補助				担当部	都市政策部		
款	項	目	事業			担当課	都市交通課		
8	4	1				担当係	公共交通係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	公共交通の充実						
	目的	親子連れ、高齢者、障害者をはじめ、誰もが快適に利用できる交通環境の整備を推進する。			主たる内容	ユニバーサルデザインタクシーを購入するタクシー事業者に対し、補助金を交付する。 ○補助額 1台当たり30万円			
	関連計画	刈谷市都市交通戦略							
	位置づけ	根拠法令	刈谷市補助金等交付規則						
	対象者	刈谷市を営業区域のタクシー事業者			事業期間	平成30年度 ~ 令和5年度			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画	
		・補助台数 10台		・補助台数 2台		・補助台数 4台		・補助台数 9台	
成果		・令和3年度は120万円の補助を行い、ユニバーサルデザインタクシーの普及促進ができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
活動指標		補助台数（台）			元年度	2年度	3年度	4年度	6年度
活動指標				10	2	4	9	—	
他市との比較検証	1台あたりの補助額（R3年度現在） 安城市：30万円、高浜市：無し、知立市：15万円、碧南市：無し、西尾市：10万円、愛知県：10万円								
C 事業コスト	単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳		
	事業費 ①		3,000	600	1,200	2,700	合計 1,200,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 1,200,000 円		
		一般財源	3,000	600	1,200	2,700			
	職員人件費 ②		370	672	53	53			
	総事業費（①+②）		3,370	1,272	1,253	2,753			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称			
3年度までの累積事業費		0							
5年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			ユニバーサルデザインタクシー購入費補助 事業		担当部	都市政策部
款	項	目			担当課	都市交通課
8	4	1			担当係	公共交通係
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価				評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	親子連れ、高齢者、障害者をはじめ誰もが、安心・安全で快適に利用することができる。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	タクシー事業者への補助として効率的かつ費用対効果の高い事業である。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	バリアフリー等、多様な利用者の移手段となる地域公共交通の確保・維持・改善を支援するため、公共交通施策として取り組む必要がある。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	高齢者、障害者をはじめ誰もが暮らしやすいまちづくり、社会づくりを進めるため、公共交通のバリアフリー化を一体的に支援し、成果を上げている。	
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止			
需要に応じた適正な補助を実施していく。						



会計名		JR刈谷駅総合改善事業				担当部	都市政策部		
一般会計						担当課	都市交通課		
款	項					目	担当係	公共交通係	
8	4					1			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	公共交通の充実						
	目的	JR刈谷駅の通勤・通学時等におけるホーム等の混雑を解消し、安全性の確保及び利便性の向上を図る。		主たる内容	JR刈谷駅のホーム拡幅、ホームドア設置、駅舎改修等の改良の設計、工事等に関する総合的な調整及び鉄道事業者への補助を行う。				
	関連計画								
	位置づけ	根拠法令							
	対象者	東海旅客鉄道株式会社		事業期間	令和元年度 ~ 令和8年度				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 実績 O 実施 V	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>JR刈谷駅改良に関する総合的な調整</li> <li>JR刈谷駅改良に向けた支障移転等負担金</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>JR刈谷駅改良に関する総合的な調整</li> <li>JR刈谷駅改良に関する鉄道事業者への補助</li> </ul>		(R2繰越分含む) <ul style="list-style-type: none"> <li>JR刈谷駅改良に関する総合的な調整</li> <li>JR刈谷駅改良に関する鉄道事業者への補助</li> </ul>		(R3繰越分含む) <ul style="list-style-type: none"> <li>JR刈谷駅改良に関する総合的な調整</li> <li>JR刈谷駅改良に関する鉄道事業者への補助</li> </ul>	
成果		<ul style="list-style-type: none"> <li>東海旅客鉄道株式会社への補助金の交付及び事業調整を行い、駅改良工事を進めることができた。</li> <li>国及び県に対して事業に対する支援の要望を行い、補助金の交付を受け、財政負担の軽減につなげた。</li> </ul>							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				元年度	2年度	3年度	4年度	6年度	
活動指標		事業進捗率（%）			0.1	0.4	6.0	29.0	67
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業 コスト		単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳	
	事業費 ①		20,025	4,414	226,679	927,348	合計	226,678,698 円	
	財源	特定財源	0	0	200,178	701,966	旅費負担金、補助及び交付金	168,120 円	
		一般財源	20,025	4,414	26,501	225,382		226,510,578 円	
	職員人件費 ②		5,476	6,458	6,814	7,969			
	総事業費（①+②）		25,501	10,872	233,493	935,317			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称			
3年度までの累積事業費		0		繰越金・JR刈谷駅総合改善事業費補助金・都市交通施設整備基金					
5年度以降の事業費見込		0							

会計名			JR刈谷駅総合改善事業	担当部	都市政策部
一般会計				担当課	都市交通課
款	項	目		担当係	公共交通係
8	4	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	JR刈谷駅は、特に通勤時間帯にはホームは人で溢れ、大変危険な状態であるとともに、改札までの移動にも時間を要することから、安全性の確保と利便性の向上のため、必要性の高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		高い	東海旅客鉄道株式会社が施工するにあたり、効率的かつ最適な整備が行えるよう、補助金の制度で実施している。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	JR刈谷駅は市の玄関口であり、駅機能の向上が市の発展に大きく寄与することから、鉄道事業者、国、県と一体となって実施していく必要がある。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	交通結節機能の強化し、公共交通機能の充実につなげるとともに、駅周辺のまちづくりの起点となる事業であり、市全体の発展に大きく貢献する事業である。
今後の方向性			<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
<ul style="list-style-type: none"> <li>令和8年度の完了を目指し、整備内容に応じた補助を行っていく。</li> <li>東海旅客鉄道株式会社と定期的な協議を重ね、事業費の平準化を図るとともに、財政負担軽減に向けた取り組みを継続して行っていく。</li> </ul>					

会計名		公共施設サイン整備事業				担当部	都市政策部		
一般会計						担当課	都市交通課		
款	項					目	担当係	道路計画係	
8	4					1			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	市街地・住環境						
		施策の内容	まちなみ・景観の充実						
	目的	市民及び来訪者に対して、主要な公共施設等の位置を適切に案内し、安全かつ円滑に移動できるようにする。		主たる内容	○刈谷駅周辺誘導案内計画の策定 ○誘導案内板の設置				
	位置づけ	関連計画	公共施設サイン計画						
		根拠法令							
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	～			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実績	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画	
						<ul style="list-style-type: none"> <li>・刈谷駅周辺誘導案内計画の策定</li> <li>・刈谷駅前線の愛称募集</li> </ul>		（R3繰越分） <ul style="list-style-type: none"> <li>・刈谷駅前線愛称看板の整備</li> </ul>	
成果		<ul style="list-style-type: none"> <li>・JR刈谷駅改良に合わせた刈谷駅周辺の誘導案内計画を策定した。</li> <li>・歩行者を対象として公共施設等への安全かつ円滑に誘導・案内するためのサイン設置に関するガイドライン（案）を策定した。</li> </ul>							
課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>・刈谷駅前線愛称看板の整備を他事業と連携して実施するため、令和4年度に延期した。</li> </ul>							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				元年度	2年度	3年度	4年度	6年度	
成果指標		刈谷駅周辺に活気や魅力があると思う市民の割合（％）			—	60.6	—	65.0	65.0
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	4,477	0	合計	4,477,000 円	
	財源	特定財源	0	0	2,200	0	委託料	4,477,000 円	
		一般財源	0	0	2,277	0			
	職員人件費 ②		0	0	3,028	1,515			
	総事業費（①+②）		0	0	7,505	1,515			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称			
		3年度までの累積事業費		0		社会資本整備総合交付金			
5年度以降の事業費見込		0							

会計名			公共施設サイン整備事業	担当部	都市政策部
一般会計				担当課	都市交通課
款	項	目		担当係	道路計画係
8	4	1			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	サインは、市民や来訪者などの不特定多数の人が目的地に安全かつ円滑に移動できるように必要な情報を伝えるための施設であることから、必要性は高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	街の魅力を高め、市民や来訪者の皆さまにとって統一されてわかりやすいサインとなるよう、サインの大きさ、文字の形や太さ、色彩等、視認要素においてユニバーサルデザインに配慮した基本的なデザインや設置方法のガイドラインを作成している。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	刈谷市バリアフリー基本構想に基づき、重点整備区域である刈谷駅周辺を対象として、整備を進めることとしている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	高齢者や障害者、子ども、外国人など誰でも容易に認識、理解できるよう、必要なサインを効果的に配置することで、移動中に不安や迷いが生じることなく、目的地まで連続的に誘導ができるようになることで市民サービスの向上につながる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
刈谷市バリアフリー基本構想に基づき、重点整備区域である刈谷駅周辺の案内や誘導を目的としたサインの整備を進める。					

会計名			公共施設連絡バス運行管理事業				担当部	都市政策部	
一般会計							担当課	都市交通課	
款	項	目					担当係	公共交通係	
8	4	1							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	公共交通の充実						
	目的	市内公共施設等を結ぶ連絡バスを運行することで、公共施設利用の利便性の向上を図るとともに、広く一般市民、特に交通弱者と言われる高齢者等の積極的な社会参加と、渋滞緩和や環境負荷低減等の観点から、通勤通学の利用を促進する。		主たる内容	公共施設連絡バス「かりまる」の運行 運行路線 6路線 東境線 西境線 一ツ木線 運動公園・東刈谷線 小垣江・依佐美線 東刈谷・逢妻線 バスロケーションシステムの運用				
	位置づけ	関連計画 刈谷市都市交通戦略、環境都市アクションプラン、衣浦定住自立圏共生ビジョン 根拠法令 刈谷市公共施設連絡バス運行事業実施要綱							
	対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成9年度 ~				
	実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 計画	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画	
		・総利用者数 706,583人 東境線 140,361人 西境線 143,619人 一ツ木線 66,017人 運動公園・東刈谷線 162,639人 小垣江・依佐美線 129,150人 東刈谷・逢妻線 64,797人		・総利用者数 516,336人 東境線 109,358人 西境線 99,492人 一ツ木線 48,255人 運動公園・東刈谷線 118,935人 小垣江・依佐美線 96,550人 東刈谷・逢妻線 43,746人		・総利用者数 566,381人 東境線 118,241人 西境線 109,886人 一ツ木線 54,818人 運動公園・東刈谷線 126,397人 小垣江・依佐美線 112,450人 東刈谷・逢妻線44,589人 ・8月1日付でダイヤ改正実施		・安全安心な運行の実施	
		成果	・バスの遅延解消を図るため、ダイヤ改正を実施した。 ・新型コロナウイルスの影響を受け、減少した利用者数に回復傾向が見られた。 ・バス車両への有料広告掲載を希望する広告主を募集し、令和3年度は4,573,230円の広告収入を得られた。						
課題		・運行本数、移動時間、バス停位置等の要望に対して検討する必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			元年度	2年度	3年度	4年度	6年度		
成果指標		利用者数（人）		706,583	516,336	566,381	590,000	610,000	
指標									
他市との比較検証		安城市 あんくるバス《11路線 利用料100円》、碧南市 くるくるバス《2路線 利用料無料》、知立市 ミニバス《5路線 利用料100円》、高浜市 いきいき号《5路線 利用料100円》							
C 事業コスト		単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度 事業費内訳	
	事業費 ①		345,960	356,963	354,323	354,671	合計	354,323,431 円	
	財源	特定財源	3,900	5,086	6,593	6,089	需用費	1,412,119 円	
		一般財源	342,060	351,877	347,730	348,582	委託料	350,587,641 円	
	職員人件費 ②		12,323	11,946	6,813	4,924	使用料及び賃借料	1,976,071 円	
	総事業費（①+②）		358,283	368,909	361,136	359,595	備品購入費	347,600 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称			
3年度までの累積事業費		0		広告料収入、バス待機場市町負担金、行政財産目的外使用料、バスロケーションシステム市町負担金					
5年度以降の事業費見込		0							

会計名			地方バス路線維持費補助事業				担当部	都市政策部	
一般会計							担当課	都市交通課	
款	項	目					担当係	公共交通係	
8	4	1							
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	公共交通の充実						
	目的	市内南北線の軸として速達性の高い民間の乗合バス路線を維持することにより、北部地域と刈谷駅周辺への移動の利便性向上と愛知教育大学学生の通学手段を確保する。			主たる内容	刈谷・愛教大線維持費補助			
	位置づけ	関連計画	刈谷市都市交通戦略						
			根拠法令	刈谷市補助金等交付規則					
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	昭和19年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B事業 D実績 O実績 V	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画	
		利用者数 44,993人		利用者数 31,973人		利用者数 31,939人		利用者数 38,000人	
成果		・刈谷・愛教大線と公共施設連絡バスとの連携等についてバス事業者と検討した。							
課題		・新型コロナウイルス感染症の影響により減少した利用者数から、まだ回復していない。 ・今後も利用者増に向け、引き続き公共施設連絡バスとの連携等を検討する必要がある。							
O実績 V	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					元年度	2年度	3年度	4年度	6年度
	成果指標	利用者数（人）			44,993	31,973	31,939	38,000	38,000
	活動指標								
	他市との比較検証								
C事業 コスト 建設事業	単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳		
	事業費①		15,604	22,055	17,099	18,000	合計 17,099,000円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 17,099,000円		
		一般財源	15,604	22,055	17,099	18,000			
	職員人件費②		1,348	1,680	61	61			
	総事業費（①+②）		16,952	23,735	17,160	18,061			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称			
3年度までの累積事業費		0							
5年度以降の事業費見込		0							

会計名		都市交通施設整備基金積立事業				担当部	都市政策部		
一般会計						担当課	都市交通課		
款	項					目	担当係	公共交通係	
8	4					1			
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	総合交通対策の推進						
	目的	道路、橋りょうその他の交通に係る施設（都市交通施設）を計画的かつ効率的に整備するために積み立てを行う。	主たる内容	都市交通施設整備基金に、運用収入等を積み立てる。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市都市交通戦略						
		根拠法令	刈谷市都市交通施設整備基金条例第3条						
	対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成28年度～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B事業実績 D実績 O実績 V	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画	
		・積立額 923,298,238円 内運用収入10,298,238円  ・取崩額 619,000,000円 繰入金充当先事業 「市道01-4線他道路新設改良」他4事業 ・年度末現在高 7,044,704,018円		・積立額 581,062,464円 内運用収入11,062,464円 ・取崩額 993,000,000円 繰入金充当先事業 「市道01-4線他道路新設改良」他7事業 ・年度末現在高 6,632,766,482円		・積立額 507,891,998円 内運用収入 7,891,998円 ・取崩額 1,329,000,000円 繰入金充当先事業 「市道01-4線他道路新設改良」他10事業 ・年度末現在高 5,811,658,480円		・積立額 7,314,000円 内運用収入 7,314,000円 ・取崩額 707,000,000円 繰入金充当先事業（予定） 「市道01-4線他道路新設改良」他10事業 ・年度末現在高見込み 5,111,972,480円	
成果		・取崩を行うことで、計画的かつ効率的な整備を推進するとともに、将来の整備に向けて積み立てを行った。							
課題									
O実績 V	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					元年度	2年度	3年度	4年度	6年度
	活動指標								
	活動指標								
他市との比較検証									
C事業コスト	単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳		
	事業費①		923,298	581,062	507,892	7,314	合計		507,891,998円
	財源	特定財源	10,298	11,062	7,892	7,314	積立金		507,891,998円
		一般財源	913,000	570,000	500,000	0			
	職員人件費②		200	560	151	152			
	総事業費（①+②）		923,498	581,622	508,043	7,466			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称			
3年度までの累積事業費		0		都市交通施設整備基金積立金					
5年度以降の事業費見込		0		利子					